

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270101512		
法人名	社会福祉法人諏訪ノ森会		
事業所名	グループホーム宮田館		
所在地 (電話番号)	〒039-3505 青森県青森市宮田字玉水238番地4 (電話) 017-726-2737		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 8月 24日	評価確定日	平成 19年 10月 13日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 3日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	4 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 6.5 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	10,500 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 8月 3日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.6 歳	最低	73 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	諏訪沢クリニック
---------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは長閑な住宅街に位置し、外観も近隣の民家とマッチングしており、自然な形で地域に溶け込んでいる。平屋の内部は段差解消や、随所に手摺りや椅子が設置され、安全の確保に配慮されている。又、共有スペースの天井はガラス張りです採光に優れ、季節柄草簾で装飾が施され、更に窓から造園の滝が眺望出来、落ち着いた雰囲気溢れている。入居者の自然な笑顔を引き出す事を基本に、個々の想いを優先し役割を持ってもらいながら、生き生きとした生活の実践を支援している。近隣住民との交流も活発であり、地域で暮らす一軒の家庭として機能、又、積極的に外部に出掛けたり、訪問を呼びかけ、認知症の理解を深めてもらうよう、明確な目的を持ち活動している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>施設全体の環境整備が成されており、音・温度・におい等も調整が行われ、快適な環境になっている。又、居室内も個々の希望する家具の持ち込みが出来、心地良く暮らせる配慮がある。鍵については、危険を回避する目的で日中も施錠しており、引き続き掛けない工夫を検討されたい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域との関係は概ね良好に保持出来ているが、災害時に於ける協力体制は希薄であり、今後の関わりを通し改善が望まれる。又、職員のスキルアップの面で、研修参加体制を整備し、計画的な参加でモチベーションを高め、職員育成に尽力されたい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>毎月定期的で開催されており、定例報告事項として、日々の暮らしぶりや行事参加状況・施設側からの要望事項、参加者からの要望・意見が出され、他、毎回テ-マを決め認知症の理解を深める為の話し合いを行っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>面会や毎月の便り郵送の折に、状況報告や意見の吸い上げを行っている。又、月1回のオンブズマンによる聞き取りを行い、結果は玄関先に掲示し、指摘事項に関しては、早期に改善している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との交流は活発で、日常的に近隣の方々が野菜等の差し入れや状況伺いで顔を出してくれる。又、施設からも積極的に地域に向き、互いに地区の仲間として自然に付き合っている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「いつもにこにこ あづましい」という理念を掲げ、自然な笑顔を引き出すケアをしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は職員全員で考え決められており、日々のケアの中で個別計画を基に実践されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	毎月開催しているカラオケ大会に地域の方が参加されたり、ホーム側からも地区の芸能大会や学校行事に招待され参加するなど、相互の交流は活発に行われている。又、近隣の方から野菜や山菜の差し入れがあったり、貰いに来るよう連絡があったり、良好な関係が出来ている。		ホームや認知症に対する正しい理解を得る目的で、現在PRのチラシを作成中であり、各家庭に配布の計画がある。早期の実施と、継続的な働きかけを期待したい。

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価を前向きに受け入れる体制が出来ており、解決に向け随時話し合いを持ち、職員の意見の吸い上げを行い解決策を打ち出している。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は奇数月の第3水曜日に実施している。ホーム・行政双方の状況や要望事項、又毎回テ-マを決め認知症の理解を深める学習を行っている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>担当者との関わりは運営推進会議が中心で、日程が合わない場合は参加を得られない時もあり、情報提供は希薄である。</p>		<p>運営推進会議も定期にとらわれず、柔軟に日程調整し参加者の確保に努め本来の目的を達成する働きかけが望まれる。又、PRチラシの配布で情報を共有し、連携の強化を図りたい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在1名の方が成年後見制度を活用しており、職員間でも定期的に勉強会を開催し理解を深めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会のテ-マとして取り上げ、関連法の理解を深めると共に、虐待防止の意識の強化を図っている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に時間を取り十分な説明を行い、理解・納得を得た上で契約書を取り交わしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や毎月広報誌を郵送して暮らしぶりを報告している。金銭管理については、個別の出納帳で管理、領収書の原本と通帳の写しも毎月送付し金銭の出し入れを明確にしている。</p>		<p>通帳管理を行っている為、預かり時に書面を取り交わし、管理の所在を明確にする事が望まれる。又、出納帳にも担当した職員の捺印等行い管理体制が強化されることを期待したい。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時意見や希望等の聞き取りを行い、都度ケアに反映させる試みを行っている。又、月1回オンブズマン導入、結果については玄関に掲示し、誰でも確認出来る体制が出来ている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人の方針として、人事異動は定期・不定期に実施されている。</p>		<p>入居者の特性に配慮し、精神的ダメージを少なくするよう異動については慎重に実施されたい。</p>

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部では毎月勉強会を実施し、資質の向上に努めている。外部の研修参加は、計画的な確保に繋がっていない。母体施設から研修の情報提供があり、希望者は公休利用で参加費自己負担で参加している。内容については、職員間で報告し合っている。</p>		<p>計画的な研修参加でスキルアップが図られるよう体制作りが望まれる。介護保険事業者の役割として専門職としての介護人材の育成に尽力されたい。</p>
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>東部地域包括支援センター - 圏内のグル - プホ - ム職員で、毎月勉強会を開催、資質向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に担当ケアマネ - ジャ - より情報を入手、入居面接時に家族から生活歴の聞き取りを細かく行い、認知症の症状の誘引となる事柄を把握し、生活上でその場面発生を防ぎ、落ち着いて暮らせるよう援助している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者が個々の得意分野で生活上の役割を持っており、職員はアドバイスを求めながら自然な雰囲気の中で作業している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>普段の会話の中で、さり気なく希望を聞き出し、外出や買い物、隣近所との交流等を行っている。又、農業の経験を活かした野菜作りや、縫い物の作業も行っている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族からは面会時に意見や希望等聞き取りを行い、本人の普段の生活を通して意向を把握し、職員全員が意見を出し合い、介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に合わせた見直しや状態変化に応じた計画の変更は行われているものの、記録として整理が不十分である。</p>		<p>家族・職員全員で意見を出し合いながら計画達成の評価や変更を行っているものの、記録として残されていない為一連の流れが不透明である。計画的に支援している事を明確にする為にも、記録物を順序立てて整理される事が望まれる。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人の希望を最優先し、随時買い物や通院を援助している。又、外出の場面を多く持ち、地域住民と顔なじみの関係を持ち、気軽に行き来出来るよう支援している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に主治医の確認を行い、施設の協力病院に変更可能な場合はかかりつけ医を変更、週1回定期的に通院を支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期の看取りに対し、早い段階で本人や家族の意思を確認、職員や主治医との打ち合わせも密に行い、希望に応じた支援を行っている。過去に1例、施設で看取った実績がある。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人を尊重した対応が実践され、呼びかけは～様付けで行われており、違和感が無く柔らかく耳に届く。個人情報については、個々のファイルで管理されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々のペースを大切に、作業している方や居間でくつろいで過ごす方、居室で読書をしている方等それぞれのライフスタイルが優先された支援が行われている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は法人の栄養士が作成している。但し旬の食材や、近隣住民からの野菜等の差し入れがあった場合は臨機にメニュー - を変更し、入居者に調理のアドバイスを受けたり、実際に作ってもらったりして食卓に載せている。配膳・食器洗い等自分の仕事として行っている入居者も居る。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応個々の入浴日は設定されているが、希望されない場合は柔軟に対応出来る体制にある。今後夜間の希望に対しても、実施出来るよう現在検討中である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	管理者は生活歴の聞き取りに力を入れており、生活体験の中から本人が有用感を持って取り組む事が出来る活動を見極め、生活の自然な流れの中で、食事の準備や片付け、野菜作り、縫い物等行えるよう支援している。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の制限は無く、買い物や散歩等希望に合わせた外出支援が行われている。又、職員と共に隣家に回覧板を届け、交流している。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>虐待や拘束について勉強会で取り上げ、日々の関わりの中でも、職員間の意識は確立されており、身体拘束は無い。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関を出ると道路に直面する事から、危険回避と不審者の侵入を防ぐ目的で、玄関は常時施錠されている。</p>		<p>ホーム前の道路の徐行を地域住民に協力してもらい働きかけをしたり、玄関の置物の位置を工夫したり、鍵を掛けなくとも生活の安全が確保出来るという意識を持って、改善される事を期待したい。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>6ヶ月に1回避難訓練を実施しているが、ホーム関係者のみで実践しており、地区住民へ案内はしているものの参加は得られていない。</p>		<p>実際場面では地区の方々の協力が不可欠であり、日頃から消防団や消防署との連携を取り、避難訓練に参加してもらい、施設内部の構造や入居者の特性について理解を深めていただく場面を持ち、災害時の速やかな協力体制を確保されたい。</p>
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は法人の栄養士が作成し、カロリー - の確保は出来ており、入居後の目立った体重変動は無い。一日の水分摂取量をチェックし過不足の無いよう管理している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>通常は手洗いうがいを基本とし、職員のみでなく、入居者も実施するよう支援している。感染症対策として、マニュアルが作成され活用、発症予防に努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は採光に優れ、季節の装飾が施され、造園の滝が眺望出来き、ゆったりとした雰囲気に溢れている。理念である「あづましい」が具現化されており、随所に形の異なるソファが置かれており、気の向くままにくつろげる環境になっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の希望に応じた家具の持ち込みがあり、一般家庭の中の一室を彷彿させ、個人の意思を尊重した環境作りが行なわれている。</p>		

 は、重点項目。